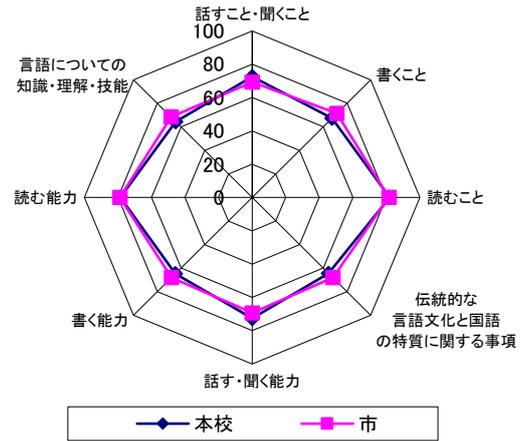


宇都宮市立桜小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	72.6	69.3	73.4
	書くこと	67.3	71.3	74.6
	読むこと	82.0	81.5	81.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.4	68.1	71.6
観点別	話す・聞く能力	72.6	69.3	73.4
	書く能力	64.7	68.1	71.7
	読む能力	78.6	78.8	79.0
	言語についての知識・理解・技能	64.4	68.4	72.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○話し方の工夫を考えながら話し合いの内容を聞いたり、司会者の役割を理解して、計画的に話し合おうとしたりすることについて、市の平均を上回っている。</p> <p>●話し手の意図を考えながら、話し合いの内容をまとめることについては、市の平均を上回っているものの、正答率は、約33%と低い。</p>	<p>・話し合い活動の際に話す順序や理由について考えながら聞かせる指導を継続していく。</p> <p>・話し合いのテーマをもとに話を聞くことをより意識化させ、メモする等の指導を行う。</p>
書くこと	<p>○理由や事例を挙げて文章を書くことについては、市の平均を上回った。</p> <p>●国語辞典の資料や、グラフの内容を読み取って意見文を書く活動において、市の平均を下回っている。</p>	<p>・理由や事例の活用文章の例をもとに型を練習し、様々なパターンを習得させる指導を継続していく。</p> <p>・資料やグラフ内容をもとに簡単な意見を書けるよう指導を工夫し、それらを積み重ね、長文へと発展できるように指導していく。</p>
読むこと	<p>○物語の文章を読み取る活動については、市の平均を上回っている。</p> <p>●説明文の読み取りに関しては、全体的には市の平均を上回っているが、一部読み取りが苦手な部分が見られる。</p>	<p>・人物の心情を言葉や情景の変化から追う活動をこまめに取り入れ、言葉のもつ意味と人物の心情とをつなげて考えられるよう、今後も指導していく。</p> <p>・段落の要点を正しく読み取ったり、要点をつなぎ合わせて説明文のテーマと照らし合わせたりする活動を通し、構成を意識した読み取りができるように指導する。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○漢字の読みについては、市の正答率とほぼ同じである。</p> <p>●5年の配当漢字の書きについては、市の平均正答率を下回った問題が多かった。</p>	<p>・漢字の読み書きやことばに関しては、授業中だけでなく興味をもって自主的に取り組むよう助言していきたい。また、分からない漢字は自分で辞典などで調べる習慣を身に付けさせたい。</p> <p>・朝の学習や宿題などで、5年時の漢字の復習に取り組ませる。</p>